

# 令和2年度 私立学校 若手教員(初任者等)全国研修会 [ 東日本会場 ] ・ [ 西日本会場 ] 実施案内

主催 一般財団法人日本私学教育研究所  
後援 日本私立中学高等学校連合会/日本私立小学校連合会

## ～ 研修のねらい ～

最新の教育界の動向や私立学校若手教員としての学校内での役割と責任について学び、これからの学校組織運営において積極的な役割を果たす教員を育成する。

## ～ 参加対象者 ～

都道府県私学協会に加盟する全国の私立小学校・中学校・高等学校・中等教育学校に在職し、初任者はもとより教員経験5年～10年程度の教員で学校長が推薦する者（特に今年度は、夏季の地区初任研が中止となったため、地区初任研に参加予定だった方の参加を歓迎します。）

## ～ポスト・コロナ期に向けた新たな「私学教育」への挑戦!～

3カ月に亘る長期の「休校」は、学校の様相を一変させました。この間、生徒の心身の安全・健康を守り「学び」を止めないために、先生方の並々ならぬご努力に支えられてようやく学校再開に漕ぎつけるに至りました。とはいえ、それはまだ、「コロナ禍以前」の学校の姿とは程遠いものではないでしょうか。

そうした意味では、私学教育に携わる先生方にとってこれからはばらばらの時期は、「コロナ禍以前」に戻るという淡い期待を抱くのではなく、「コロナ禍」を経験した新しい社会から寄せられる多様な期待に教育はどう応えていくのか、次の時代にふさわしい「学び」や「私立学校」の在り方とは何か、こうした切実な課題に真摯に向き合い、挑戦していく日々なのではないでしょうか。

当初、今年度の若手教員研修会（「初任者研修全国研修会」から改称）は、東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されていたことから、例年夏季に実施していた「中堅教員研修会」を秋に移して同時開催とし、若手教員が中堅教員とともに新しい時代の私学を目指す「チーム学校」をいかに構築するか、という合同研修ならではのプログラムを予定していました。奇しくも今回の「コロナ禍」によって「チーム学校」の底力が問われることとなった今、改めてこの研修会のプログラムの意義を受け止めていただき、多くの先生方があらゆる知見や経験を結集して新しい時代の私学像の構築に挑戦してくださることを期待しています。

校務ご多用の時期ではありますが、どうぞ奮ってご参加ください。

**会期・会場** 東日本会場 会期 令和2年10月9日（金）～10月10日（土）  
会場 主婦会館プラザエフ 8階「スイセン」  
西日本会場 会期 令和2年10月16日（金）～10月17日（土）  
会場 スペースアルファ三宮 「特大会議室」

（勤務校の所在地に関わらず、東・西どちらでもご都合のよい方で参加いただけます。宿泊はご用意していませんので、必要な方は各自でご手配ください。）

**募集定員** 東日本会場・西日本会場 各60名

（会場の関係で参加人数を調整させていただく場合があります。）

**参加費** 15,000円（両日の昼食費を含む）

【 日 程 】 (運営の都合上、日程の一部が変更になる場合があります。)

東	西	実施時間	研 修 プ ロ グ ラ ム	
10 月 9 日 (金)	10 月 16 日 (金)	9:00~9:30	受付	(研修会場入口)
		9:30~9:50	開会式	
		9:50~11:10	研修 1	講義「私学人の心得(仮)」〈若手・中堅共通〉 講師 森 涼(学校法人石川高等学校・石川義塾中学校/理事長・校長) 私立学校の存立根拠や原点となる“建学の精神”の重要性と、学内におけるその共有の仕方について振り返ります。
		11:25~12:45	研修 2	講義「私学教育の現状と課題(仮)」〈若手・中堅共通〉 講師 中川 武夫(一般財団法人日本私学教育研究所 所長) 今回の「コロナ禍」に対する私学の取り組みを振り返り、次の時代に向けて私学が直面する課題について理解を深めます。
		12:45~13:45		昼食・休憩
		13:45~17:00	研修 3	講義とワークショップ 「チーム学校と若手教員の役割」 講師 広石 英記 (東京電機大学 副学長) 「チーム学校」の意義を再認識するとともに、若手教員の役割と働きについてグループワークを行います。
10 月 10 日 (土)	10 月 17 日 (土)	9:00~12:30	研修 4	講義とワークショップ 「いじめ問題と私立学校の危機管理」 講師 堀切 忠和 (弁護士) “いじめ防止対策推進法”の活用について正しい理解を深め、「チーム学校」としての危機管理の在り方を考えます。
		12:30~13:30		昼食・休憩
		13:30~16:20	研修 5	講義とグループワーク 「オンライン時代の教育問題への挑戦」〈若手・中堅合同〉 ファシリテーター 広石 英記 (東京電機大学 副学長) 2日間の研修内容を踏まえ、若手教員と中堅教員が一緒になってグループワークを進め、「ポスト・コロナ期」の新しい「私学像」「チーム学校」づくりに挑戦します。
		16:30~16:40		研修のまとめと振り返り(アンケート記入)
		16:40~17:00	閉会式	

【東日本】主婦会館プラザエフ

東京都千代田区六番町 15  
Tel 03-3265-8111



【西日本】スペースアルファ三宮

神戸市中央区三宮町 1-9-1 (センタープラザ東館 6F)  
Tel 078-326-2540



## 【参加申込方法】

- ① 参加申込書に必要事項を記入し、日本私学教育研究所へ郵送または FAX でお送りください。  
申込締切 令和2年9月25日(金)  
※締切日前でも定員になり次第、締め切らせていただきます。

送付先・問い合わせ先

一般財団法人日本私学教育研究所 若手教員研修係

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階

TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683 担当 高橋・高山

E-mail:[kenkyu-kenshu@shigaku.or.jp](mailto:kenkyu-kenshu@shigaku.or.jp)

- 参加申込書は、お一人一枚ご記入ください。複数名参加の場合はコピーしてください。
- 参加申込書及び実施案内は、当研究所ホームページよりダウンロードすることもできます。

当研究所ホームページアドレス <http://www.shigaku.or.jp>

- ②参加申込書が届きましたら、参加確認証および指定払込書を学校長あてにお送りいたしますので、参加費を日本私学教育研究所あてに送金してください。
- 指定払込書の「振替払込金受領書」をもって領収書にかえさせていただきます。別途、領収書が必要な場合には、上記「若手教員研修係」までご連絡ください。
  - 参加申込後のキャンセル等については、必ず FAXにて当研究所へご連絡ください。
  - 研修会 1 週間前（東日本 10 月 2 日：西日本 10 月 9 日）までに研修会に不参加の連絡があった場合には、事務手数料 1,000 円を差し引いた金額を、研修会終了後 1 ヶ月以内に学校長宛に現金書留にて返金いたします。それ以降のご連絡や無断欠席の場合には返金はいたしかねます。研修会資料の発送を以て代えさせていただきますので、ご了承ください。

## 【参加に際してのご注意】

- 参加確認証…参加確認証は、研修会当日にご本人が必ず持参してください。前々日までにお手元に届いていない場合は、上記「若手教員研修会係」に電話でご連絡ください。
  - 持参品…筆記用具、健康保険証、PC・タブレット・スマートフォンなどの情報端末機
  - 受講中の服装…ご指導いただく先生方に失礼のない服装で受講してください。
  - 来場方法…駐車場は用意していませんので、公共交通機関をご利用ください。
  - 宿泊の用意はしておりませんので、必要な方は各自でご手配ください。
  - 本研修会の研修期間中、参加者等の傷害保険には主催者として加入しておりませんのでご承知おきください。
  - 研修会の様子を伝えるため、主催者が会場内で写真/動画撮影をし、今後の研修会案内での使用を予定しています。撮影につきましては故意に参加者の顔を大きく撮影することはありませんが、写真や動画内に映りこむ可能性があります。あらかじめご了承ください。
  - 新型コロナウイルス感染症防止の観点から、参加者が安心して研修に臨めるよう留意します（詳細は当研究所HPでご確認ください）。とくに参加者にはマスクの着用をお願いいたします。また当日 37.5 度以上の熱のある方や体調がすぐれない方などは参加をお断りすることがあります。
- ※今後の感染拡大状況によっては、研修会の延期または中止、会期の短縮、講師 等の変更、プログラム等の内容変更、受入れ人数の調整など見直しを行う場合があります。

## 【個人情報の取扱い】

当研究所では、研修会に参加される方の個人情報は厳重に管理・保護し、その取扱いについては、法令その他の規範を尊重し、細心の注意を払っております。参加申込書にご記入いただいた個人情報は、「参加確認証」及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿作成、当研究所の各種研修会開催等のご案内の送付、また何らかの理由で研修会に参加される方に連絡を要する事態が生じた場合のみに利用いたします。

送付先 日本私学教育研究所 FAX番号 03-3222-1683 ※送信状は不要です

【申込締切日：9月25日（金）】

令和2年度 私立学校 若手教員(初任者等)全国研修会 参加申込書 [ - ]

※研究所使用欄

- ・太線枠内に必要事項を記入、または該当する事項に○印をしてください。
- ・※の項目は、実施要項の参加者名簿に記載します。他は研究所が統計上の記録・調査に使用します。
- ・申込は一人につき一枚の申込書を使用してください。同一校から複数名でお申し込みの場合は、用紙をコピーしてご利用ください。

研修会 ○で囲んでください	東日本 No.116 10月9日・10日(主婦会館プラザエフ)	西日本 No.117 10月16日・17日(スペースアルファ三宮)
※都道府県名	※学校名	
学校所在地 〒		
TEL		FAX
ふりがな ※参加者氏名	男・女 年齢( )	緊急連絡先 (自宅・携帯電話番号等連絡が取れるところ)
職名 ○で囲んでください 教諭・講師(常勤・非常勤) その他( )	※教科	担当科目
教職経験の有無(職名を問わず) 現勤務校に今年度で( )年目・一年未満 それ以前に、私立学校 ( )年・公立 ( )年 勤務		校務分掌(委員会)
教職以外の就業経験 有( )年間・無		
現在のクラス担任 有(小・中・高 ( )年生)・無	現在担当のクラブ活動 有( )・無	
メールアドレス ：当研究所からの研修会案内等のメール配信希望の方は、メールアドレスをご記入ください。(携帯電話のメールは不可)		
一般財団法人 日本私学教育研究所 御中		令和2年 月 日
上記の通り申し込みます。		
学校長氏名		Ⓜ
【通信欄】		